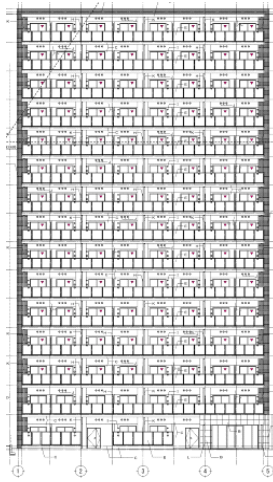


# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

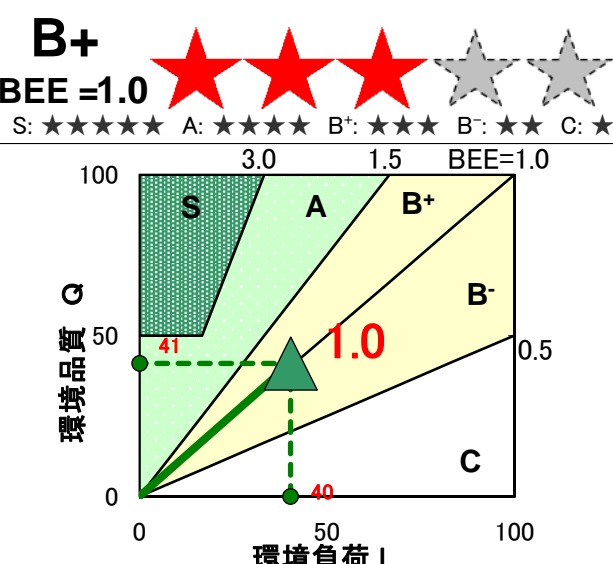
大阪みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西成区長橋1丁目ホテル新築工事		
建設地	西成区長橋1丁目		
建築用途	ホテル		
建築主			
設計者			
敷地面積	632.43 m <sup>2</sup>		
建築面積	312.71 m <sup>2</sup>		
延床面積	3,857.01 m <sup>2</sup>		
構造/階数	RC造 / 地上15階		
完了年(予定)	2027年11月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

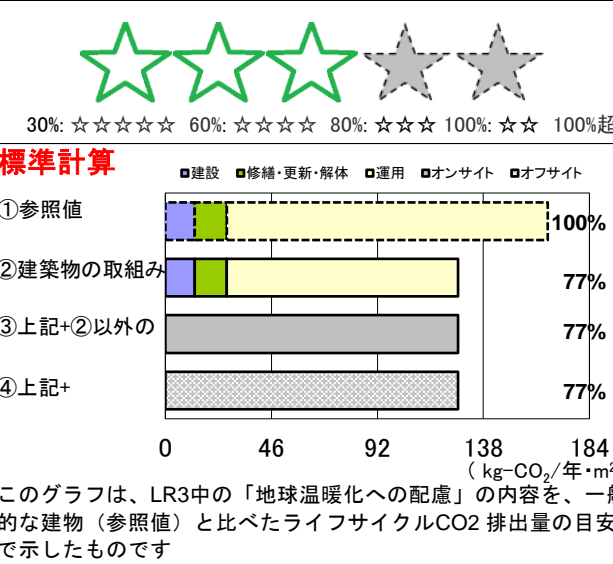
**B+**  
BEE=1.0



S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

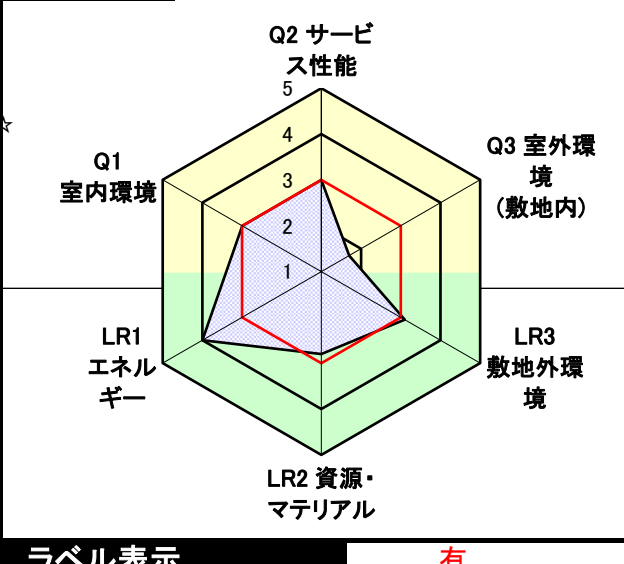
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



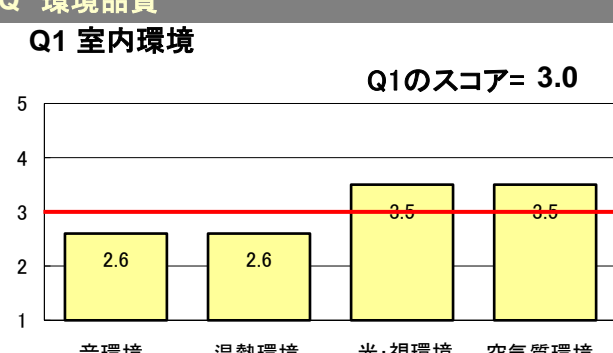
ラベル表示 有

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.6

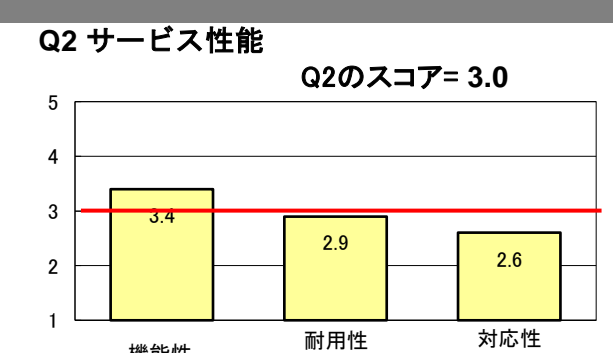
#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0



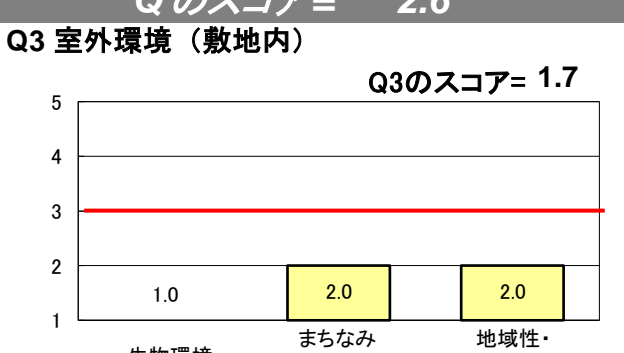
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0



#### Q3 室外環境 (敷地内)

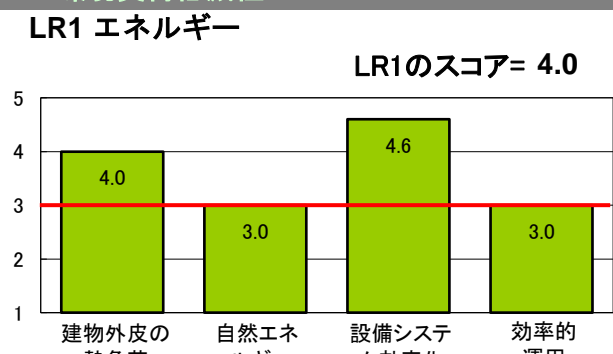
Q3のスコア= 1.7



**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.3

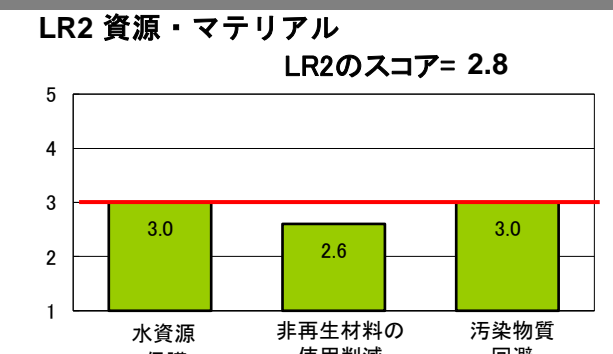
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0



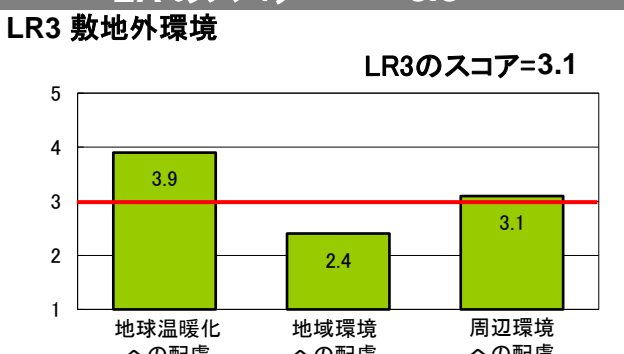
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 大阪市西成区に計画された地上15階建て、RC造のホテル。高効率設備や節水器具を採用し、省エネルギー性を高めた。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質対策として、主要な内装材及び取付接着剤はF☆☆☆☆を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材、配管を採用した。安定した通信環境となるよう通信設備を整えた。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 防犯性に配慮し出入口などに防犯カメラを設置することで、外部の状況を館内から確認できるようにした。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう下地構造はLGSとし、部材の再利用可能性向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策として、屋外広告の照明は行わず敷地外環境に配慮した。

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.6
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
外皮性能	- (相当)	0.90	
	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
一次エネルギー消費量	0.72	-	0.72